

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	聴覚障害を持つ子どもの健全な発育や生活環境の向上、社会での自立促進
(2) 事業内容	(ア) 子どもの聴覚検査と聴覚診断 - ガザ地区の全 5 地域にある診療所および幼稚園で 57 回、合計 4,734 人の乳幼児に聴覚検査を実施した。 - 聴覚検査の結果「要検査」と判断された乳幼児 111 人が、現地提携団体の専門設備で聴覚診断を受けた。 (イ) 聴覚障害の子どもをもつ家庭へのアウトリーチ型早期介入プログラム - 聴覚検査・診断を経て、早期支援が必要とされた乳幼児のうち、11 世帯に対して、早期支援専門家によるアウトリーチの在宅プログラムを 41 回実施した。 (ウ) 聴覚障害の子どもと親のための集団遊戯療法 8 人の乳幼児とその親が、集団遊戯療法に 64 回参加した。 (エ) コミュニティにおける啓発ワークショップ - ガザ市において、1 回の啓発ワークショップを実施した。 (オ) 聴覚障害の子どもと親や家族のための手話トレーニング 9 回の手話トレーニングを実施した。 (カ) 聴覚障害の子どもや家族への在宅ソーシャルワーク - ソーシャルワーカーが 22 人の乳幼児の家庭に各 1 回ずつ訪問し、支援を行った。 (キ) 早期介入に関するパネルディスカッション - 中間報告時点では、実施に向けて計画段階
(3) 達成された効果	【成果 1】多くの 0-5 歳の子どもたちが聴覚検査を受けることができ、聴覚障害が早期に判別される：活動（ア） - 聴覚検査を受けた 0-5 歳の子ども数（目標：5,000 人） 実績：4,734 人（94%達成） - 補聴器の提供数（目標：144 個） 実績：56 人に 2 個ずつ計 112 個（77%達成） 【成果 2】聴覚障害を持つ 0-5 歳の子どもが適切な支援を受けて適切な発達が保障される。また障害の状況に合わせた対応策が検討される：活動（イ）（ウ）（カ） - 早期介入を受けた 0-5 歳の子ども数（60 人） 実績：22 人（36%達成） - 聴覚障害の子どもと親の適切な発達（専門家の評価レポート、親の視点や援助職員などの視点からの評価アンケート） 実績：事業終盤に評価を行う - 聴覚障害を持つ子どもが、将来的にアトファルナろう学校や地域の関係施設、また普通学校での教育の機会を持つ（60 人） 実績：当事業の聴覚検査・診断により聴覚障害とわかった 5 歳の女儿 1 名が、アトファルナろう学校の幼稚園に 9 月より入園した。 【成果 3】家族や地域社会の理解が深まり、聴覚障害の子どもへの

	社会環境が向上する：活動（エ）（オ）（カ）（キ） ・ 手話講座の参加者数（目標：70 人） 実績：19 人（27%達成） ・ コミュニティ啓発の参加者数（目標：200 人） 実績：24 人（12%達成） ・ 聴覚障害を持つ子どもの親や家族のコミュニケーション能力調査（聴覚障害幼児教育専門家の評価レポート） 実績：事業終盤に評価 ・ ろうや聴覚障害に関する知識の伝播や意識調査（フォーカスグループ、アンケートによる調査） 実績：事業終盤に評価 ・ 聴覚障害の子どもを持つ家族のストレス、モチベーション調査（フォーカスグループ、アンケートによる調査） 実績：事業終盤に評価 ・ パネルディスカッションの開催 実績：事業終盤に実施予定で計画を進めている ※ 5,000 人の聴覚検査を実施後に、聴覚診断を経て具体的に早期支援を実施する子どもや家族が決まるため、中間報告時点では各種活動の成果はまだ出ていない。7～8 月にイスラム教の断食月（ラマダン）もあり、早期支援活動は 9 月以降に本格化する。
（４）今後の見通し	（ア） 子どもの聴覚検査と聴覚診断 ・ 聴覚検査は 4 月に開始し、9 月中旬にて終了予定。聴覚検査からの照会により聴覚診断を継続、10 月末までに終了予定。 （イ） 聴覚障害の子どもをもつ家庭へのアウトリーチ型早期介入プログラム ・ 7 月より活動開始。ソーシャルワーカーと早期支援専門家が連携をとり、乳幼児ごとの支援方針・内容を決めて進めていく。 （ウ） 聴覚障害の子どもと親のための集団遊戯療法 ・ 7 月より活動開始。活動（イ）同様、ソーシャルワーカーと早期支援専門家が連携をとりながら、親のみのセッションと親子のセッションを継続。子どもや親の状況から、個別の遊戯療法が必要と判断した際は集団療法と組み合わせて対応していく。 （エ） コミュニティにおける啓発ワークショップ ・ ガザ地区における各地域でのニーズ・アセスメントを経て、残りの 9 回の実施計画は策定済み。9 月以降に活動が本格化。 （オ） 聴覚障害の子どもと親や家族のための手話トレーニング ・ 8 月より活動開始。予定通り実施見込み。 （カ） 聴覚障害の子どもや家族への在宅ソーシャルワーク ・ 7 月より活動開始。ソーシャルワーカーが乳幼児ごとのケース・ファイルを作成し、他専門職と連携を取りつつ進めていく。 （キ） 早期介入に関するパネルディスカッション ・ 事業終盤にガザ市で開催予定。現地提携団体と招聘者や内容について協議を重ね準備中。